

令和6年10月2日（水曜日）予算特別委員会

○出席委員（15名）

2番	佐藤政人	委員	3番	野口康一郎	委員
4番	児玉崇	委員	5番	月光裕晶	委員
6番	安孫子義徳	委員	7番	太田陽子	委員
8番	佐藤耕治	委員	9番	後藤健一郎	委員
10番	渡邊賢一	委員	11番	伊藤正彦	委員
12番	古沢清志	委員	13番	太田芳彦	委員
14番	沖津一博	委員	15番	荒木春吉	委員
16番	阿部清	委員			

○欠席委員（なし）

○遅刻委員（なし）

○早退委員（なし）

○説明のため出席した者の職氏名

佐藤洋樹	市長	齋藤真朗	副市長
佐藤志津男	教育長	猪倉秀行	総務課長（併） 選挙管理委員会 事務局局長
東海林恒	企画創成課長	小林博之	財政課長
渡辺智昭	市民生活課長	菊地正博	防災危機管理 課長
渡邊健一	農林課長（併） 農業委員会 事務局局長	白田純一	商工推進課長
後藤英明	さくらんぼ観光 課長	小林弘之	福祉国保課長
黒田美紀	健康増進課長	今野育男	学校教育課長

○事務局職員出席者

東海林茂美	事務局長	伊藤正弘	局長補佐
堀和敏	総務係主任	熊谷拓哉	総務係主事

予算特別委員会議事日程第2号 第3回定例会
令和6年10月2日(水) 決算特別委員会終了後開議

再開

- 日程第1 議第46号 令和6年度寒河江市一般会計補正予算(第3号)
" 2 分科会審査の経過並びに結果報告
(1) 総務産業分科会委員長報告
(2) 厚生文教分科会委員長報告
" 3 質疑・討論・採決
閉会

本日の会議に付した事件

議事日程第2号に同じ

再開 午前10時05分

- 古沢清志委員長 おはようございます。
ただいまから予算特別委員会を再開いたします。
出席委員は定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

議案上程

- 古沢清志委員長 日程第1、議第46号令和6年度寒河江市一般会計補正予算(第3号)を議題といたします。

分科会審査の経過並びに結果報告

- 古沢清志委員長 日程第2、分科会審査の経過並びに結果報告であります。

総務産業分科会委員長報告

- 古沢清志委員長 初めに、総務産業分科会委員長報告を求めます。安孫子総務産業分科会委員長。

[安孫子義徳総務産業分科会委員長 登壇]

- 安孫子義徳総務産業分科会委員長 総務産業分科会における審査の経過と結果について御報告申し上げます。

本分科会は、9月20日、委員全員出席し開会いたしました。

分担付託されました案件は、議第46号第1表中歳入全部、歳出第2款の一部、歳出第6款、歳出第7款、歳出第9款並びに第2表及び第3表であります。

順を追って審査の内容を申し上げます。

初めに、議第46号令和6年度寒河江市一般会計補正予算(第3号)第1表中歳入全部を議題とし、当局の説明を求め、質疑に入りましたが、御報告する質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第46号第1表中歳出第2款の一部を議題とし、当局の説明を求め、質疑に入りましたが、質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第46号第1表中歳出第6款を議題とし、当局の説明を求め、質疑に入りました。

主な質疑の内容を申し上げます。

委員より「畑地化促進事業費補助金について、対象となる面積及び経営体は」との問いがあり、当局より「当該補助金の対象となる水田活用直接支払交付金の対象水田面積は1,616.13ヘクタールです。その中から、今年度畑地化を希望したのは464筆、62.64ヘクタールで、経営体数が163です」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第46号第1表中歳出第7款を議題とし、当局の説明を求め、質疑に入りました。

主な質疑の内容を申し上げます。

委員より「空き店舗対策支援事業補助金について、今後のさらなる申請の見込みがあるため追加するとのことだが、現在の申請状況は」との問いがあり、当局より「現時点で4件の申請をいただいています」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第46号第1表中歳出第9款を議題とし、当局の説明を求め、質疑に入りましたが、御報告する質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第46号第2表を議題とし、当局の説明を求め、質疑に入りましたが、質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第46号第3表を議題とし、当局の説明を求め、質疑に入りましたが、質疑もなく、

討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

以上で総務産業分科会における審査の経過と結果について御報告を終わります。

厚生文教分科会委員長報告

○古沢清志委員長 次に、厚生文教分科会委員長報告を求めます。月光厚生文教分科会委員長。

〔月光裕晶厚生文教分科会委員長 登壇〕

○月光裕晶厚生文教分科会委員長 厚生文教分科会における審査の経過と結果について御報告申し上げます。

本分科会は、9月24日、委員全員出席し開会いたしました。

分担付託されました案件は、議第46号第1表中歳出第2款の一部、歳出第3款、歳出第4款及び歳出第10款であります。

順を追って審査の内容を申し上げます。

初めに、議第46号令和6年度寒河江市一般会計補正予算（第3号）第1表中歳出第2款の一部を議題とし、当局の説明を求め、質疑に入りました。

主な質疑の内容を申し上げます。

委員より「2款1項9目の防犯対策事業について、主に中央通りの防犯街路灯が多いとのことだが、これまでの大きい街路灯の維持が厳しく、老朽化もしているため、それらを今後使わないようにするため、今回このような大規模な数になったということか」との問いがあり、当局より「今年7月ぐらいにさくらんぼの街路灯が撤去もしくは消灯ということになりました。中央通り分は街路灯がついていない状態になり、その分の35灯分の要望が町会よりあり、例年より多くなったというものであります」との答弁がありました。

委員より「街路灯から新しく変わった防犯街路灯は明るさ的には問題ないのか」との問いが

あり、当局より「従来のさくらんぼ街路灯は3つの球があり、かなり明るいものでありました。今回の防犯街路灯はLEDで1灯、高さも基準が5メートルになっております。あくまでも防犯的には問題ない明るさとなっているところぞす」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第46号第1表中歳出第3款を議題とし、当局の説明を求め、質疑に入りましたが、質疑もなく、討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第46号第1表中歳出第4款を議題とし、当局の説明を求め、質疑に入りました。

主な質疑の内容を申し上げます。

委員より「4款1項4目の休廃止鉱山鉱害防止対策事業について、今回の増額は、工事の箇所が増えたことによる増額でなく、あくまでも単価増などの要因での増額ということか」との問いがあり、当局より「今回の工事ですが、令和2年度の大雨で発生したことに関連しておりまして、この間の大雨で被害は少し大きくなっているところではありますが、箇所的には当時と同じとなっております」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

次に、議第46号第1表中歳出第10款を議題とし、当局の説明を求め、質疑に入りました。

主な質疑の内容を申し上げます。

委員より「10款2項1目の小学校管理事業について、令和8年度に向けて普通教室を4つ増やすということだが、生徒数の動向を見ると、中部小は増加傾向にあり、どういった見通しで4つの教室を増やすこととしたのか」との問いがあり、当局より「学区内で今58区画の宅地造成が行われているところですが、児童数がどれくらい増えるかという推計はできていないところでありまして。ただ、陵南町の宅地開発の影響

で、令和3年度から令和6年度までの間に陵南町の児童数が97名増加しています。これを参考にしたところぞす」との答弁がありました。

討論を終結し、採決の結果、賛成多数をもって原案を了とすることに決しました。

以上で厚生文教分科会における審査の経過と結果について御報告を終わります。

質疑・討論・採決

○古沢清志委員長 日程第3、これより質疑・討論・採決に入ります。

初めに、総務産業分科会委員長報告に対する質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

次に、厚生文教分科会委員長報告に対する質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これにて質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論を終結いたします。

これより議第46号令和6年度寒河江市一般会計補正予算(第3号)を採決いたします。

本案に対する各分科会委員長報告はいずれも原案を了とするものであります。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議なしと認めます。

よって、議第46号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

閉 会 午前10時16分

○古沢清志委員長 以上をもって予算特別委員会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

以上会議の結果を記載し、相違ないことを証するために署名する。

予算特別委員会委員長 古 沢 清 志